2024.2/25　宇治市文化会館 小ホール

文化の「進歩・自由・夢」を開催
シンポジュウム

本年度、文化庁京都がスタートしました。また、宇治ゆかりの大河ドラマが始まりました。

一方、高齢化は進み、５類になったとは言え、新型コロナウイルス禍の影響は文化芸術活動に大きな影を落としています。

国の「文化芸術基本法」の制定があり、市も「文化芸術振興条例」を制定、令和４年に「文化芸術振興基本計画」が定められました。そこには、文化の伝来･伝承、教育、福祉、観光、国際交流、産業等の連携や人材育成、鑑賞機会の提供、環境整備等が盛り込まれています。

わが宇治市の文化「進歩･自由・夢」は脈々として受け継がれ、日々の生活に溶け込んでいます。
今後、体験した事の無い高齢化社会や人口減少時代に遭遇した時、文化の活動や将来の夢をどのように描いていけば良いのか、「見定めたい」と企画しました。

＊京都府　令和５年度文化芸術振興･発信の補助事業です。

2